

Natural Sound RF Demodulator**APD-2**

この製品は必ず交流 100V で使用してください。交流 100V 以外の電圧で使用すると、火災・感電の原因になります。

本機は、電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

このたびは、YAMAHA RFデモジュレーターAPD-2をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

本機はドルビーデジタル(AC-3)のRF信号をデジタル信号に変換し、OPTICAL(光)とCOAXIAL(同軸)の2種類の端子より同時に出力することができます。

ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後は、保証書とともに保管してください。

安全上のご注意 (安全に正しくお使いいただくために)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。絵表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**危険**

この表示を無視して誤った取扱いをすると、火災や人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

**警告**

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意**

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⊘ 記号は禁止の行為であることを表わすものです。図の中や近くに具体的な禁止内容を示しています。



△ 記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを表わすものです。図の中や近くに具体的な注意内容を示しています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を表わすものです。図の中や近くに具体的な指示内容を示しています。

設置されるとき**危険**

本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

表示された電源電圧交流100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

設置されるとき

⚠️ 注意

<td> <p>直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。</p> <p>湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p> </td> <td> <td> <p>本機と他の機器とを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続には指定のコードを使用してください。</p> </td> </td>	<p>直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。</p> <p>湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p>	<td> <p>本機と他の機器とを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続には指定のコードを使用してください。</p> </td>	<p>本機と他の機器とを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続には指定のコードを使用してください。</p>
		<td> <p>本機はデジタル信号を扱いますので、電波を扱う機器に障害を与える場合があります。ワイヤレスチューナーやテレビなどとはできるだけ離して設置してください。</p> </td>	<p>本機はデジタル信号を扱いますので、電波を扱う機器に障害を与える場合があります。ワイヤレスチューナーやテレビなどとはできるだけ離して設置してください。</p>

ご使用になるとき

⚠️ 警告

改造禁止	<p>本機のキャビネットは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は取扱店にご依頼ください。</p> <p>本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。</p>	<td rowspan="2"> <p>万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p> <p>すぐに機器本体の電源スイッチを切り（素手ではなく、必ず厚手の手袋か布を使用して）、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>煙が出なくなるのを確認して取扱店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p> </td>	<p>万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p> <p>すぐに機器本体の電源スイッチを切り（素手ではなく、必ず厚手の手袋か布を使用して）、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>煙が出なくなるのを確認して取扱店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>
接触禁止	<p>雷が鳴りだしたら電源プラグにはふれないでください。感電の原因となります。</p>		
<td> <p>本機に水をかけたり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。</p> <p>電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。</p> </td> <td> <td> <p>万一、本機を落としたり、キャビネットを損傷した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p> </td> </td>	<p>本機に水をかけたり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。</p> <p>電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。</p>	<td> <p>万一、本機を落としたり、キャビネットを損傷した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p> </td>	<p>万一、本機を落としたり、キャビネットを損傷した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>

⚠️ 注意

<td> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p> </td> <td> <td> <p>ほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがありますので、定期的に本機の掃除をおこなってください。</p> <p>特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。</p> </td> </td>	<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p>	<td> <p>ほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがありますので、定期的に本機の掃除をおこなってください。</p> <p>特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。</p> </td>	<p>ほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがありますので、定期的に本機の掃除をおこなってください。</p> <p>特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。</p>
	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</p>	<td> <p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p> </td>	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p>



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY、PRO LOGICおよびダブルD記号  は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

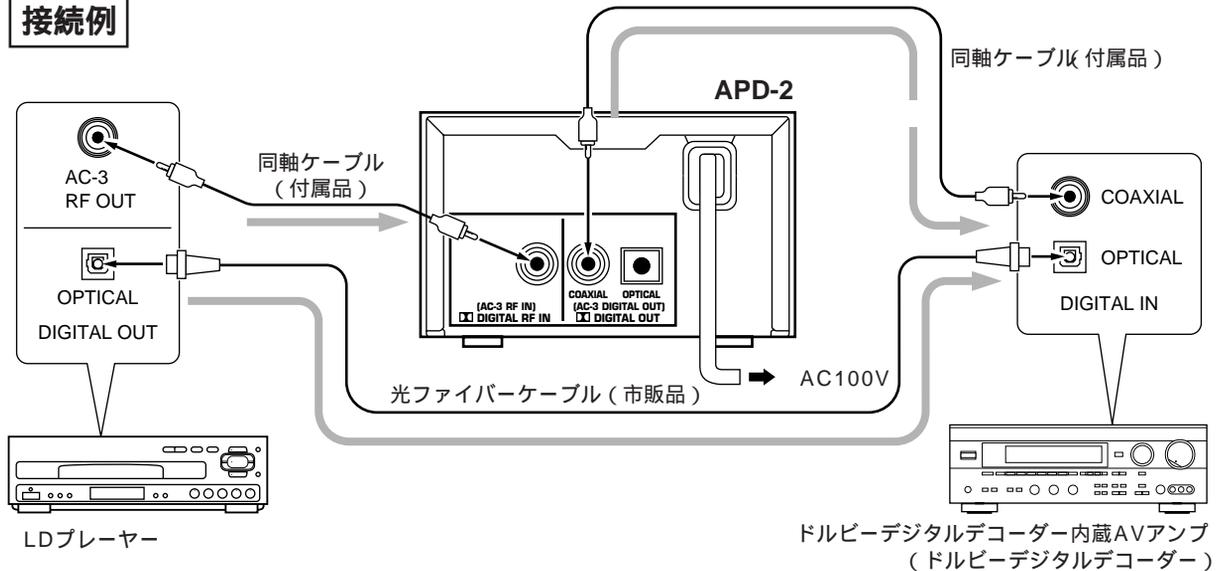
非公開機密著作物。著作権1992～1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

接続のしかた

接続は本機および外部機器の電源を切った状態で行ってください。

本機の使用により、LDプレーヤー等のドルビーデジタル(AC-3) RF出力をドルビーデジタル(AC-3) デコーダーのデジタル入力へ接続することができます。

接続例



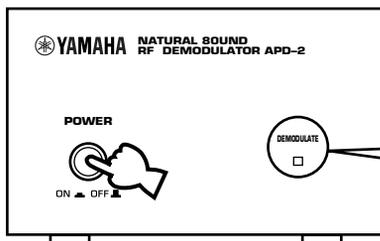
ドルビーデジタルデコーダー内蔵AVアンプ(ドルビーデジタルデコーダー)のデジタル端子への接続は、同軸ケーブルか光ファイバーケーブルのどちらかで接続してください。本機のAC-3 DIGITAL OUTからは、OPTICAL(光とCOAXIAL(同軸)の両方の端子よりデジタル信号が同時に出力されます。

MEMO

本機のDIGITAL SIGNAL(OPTICAL)端子は、EIAJ規格に基づいて設計されています。EIAJ規格を満たさない光ファイバーケーブルを使用すると、正常に作動しないことがあります。

光ファイバーケーブルを接続する場合はOPTICAL端子に付いているキャップを抜いてから接続してください。また、抜いたキャップは大切に保管してください。端子を使用しない場合は、ほこりなどの侵入防止のため必ずキャップを差し込んでください。

電源 ON/OFF



フロントパネルのPOWERスイッチを押し込むと電源ONになり、もう一度押し込むと電源OFFになります。

ドルビーデジタル(AC-3) RF信号が入力され、正常に作動している時にはDEMOMULATEインジケーターが点灯(オレンジ色)します。

ご注意 ドルビーデジタル(AC-3)RF信号以外のデジタル信号が入力されても音はでません。

仕様

ドルビーデジタル(AC-3) RF入力端子	75Ω	電源電圧	100V
出力端子	COAXIAL(同軸) 出力端子	0.5Vp-p · 75Ω	消費電力
	OPTICAL(光) 出力端子	-	重量
外形寸法	10(幅) × 62.4(高さ) × 132.5(奥行)		付属品
			同軸ケーブル(2本)

本機は電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

技術料

故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代

修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年（テープデッキは6年）です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は本機背面に表示してあります。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品（下記参照）が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例：

ボリュームコントロール、スイッチ、リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますのでエージングの差による音色の違いが出る場合があります。

ヤマハAV製品の機能、取扱いに関するお問い合わせ窓口

お客様ご相談センター

TEL (03) 5488 - 5500

ご相談受付時間 10:00~12:00 13:00~17:00

(土・日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

AV国内営業部 TEL(053)460-3451

AV・IT品質保証部 TEL(053)460-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

ヤマハAV製品の修理受付窓口

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50
ヤマハセンター内

TEL(011)512-6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7
仙台卸商共同配送センター3F

TEL(022)236-0249

首都圏 〒211-0025 川崎市中原区木月1184
TEL(044)434-3100

浜松 〒435-0048 浜松市上西町911
ヤマハ(株)宮竹工場内

TEL(053)465-6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F

TEL(052)652-2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内

TEL(06)6877-5262

広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL(082)874-3787

四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸高松店内

TEL(087)822-3045

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL(092)472-2134

愛情点検



永年ご使用の本機の点検を！

こんな症状はありませんか？

電源コード・プラグが異常に熱い。
コゲくさい臭いがする。
電源コードに深いキズが変形がある。
製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
電源を入れても正常に作動しない。
その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

このページは、安全にご使用いただくためのAV製品全般のご案内です。